

現状

- (昨年度当懇話会での主な意見等)
- 各医師会でコーディネーター事業を実施。アンケートや研修会など、在宅医療を担う人材の確保に向けた取組を実施。市域を越えた連携、病診の連携を高める事業を進めている。
 - 高槻市医師会で在宅患者の情報共有シートを作成。各病院とともに広めていきたい。
 - 情報共有シートは、入退院を基本に考えるべきで、急性期病院がリーダーシップをとるべき。
 - 各歯科医師会で在宅歯科ケアステーションを設置し、在宅歯科に関する情報提供を実施。
 - 茨木市薬剤師会では、在宅医療対応可能な薬局の一覧を作り、行政の窓口などに配架している。
 - 三島ブロック訪問看護ステーションと高槻市薬剤師会合同で研修会を実施。

提供体制

●訪問診療を実施する診療所数	193
●在宅療養支援診療所数	142
●在宅療養支援歯科診療所数(1)	3
●在宅療養支援歯科診療所数(2)	51
●在宅患者調剤加算薬局数	136
●在宅療養支援病院数	7
●在宅療養後方支援病院数	6
●訪問看護ST数	62
●入退院支援加算を算定する病院	22
●入院機関とケアマネ連携数	1669
●在宅看取りを実施する診療所数	22

短期(3年後)

課題

- 今後増加が見込まれる在宅医療等の需要に対応するため、医療従事者等への在宅医療の理解を促進し、在宅医療を担う人材を確保する等、提供体制の充実を図る必要があります。
- 在宅医療推進においては、病院を中心とした連携が重要であり、地域における連携体制の構築を図ることが重要です。
- 各市町の取組や課題について情報交換等を行い、切れ目のない医療提供体制の構築を推進する必要があります。

計画中間年(2020年度)までの取組

- 安定した在宅医療を推進するため、医療従事者に対して研修会や啓発媒体を活用し在宅医療を担う人材の確保に向けた取組を行います。
- 切れ目のない医療の提供体制を構築するため、中核的な病院がリーダーシップをとり入退院における連携について検討できるよう、圏域内の病院が集まる場などにおいて、情報交換、課題の検討を行います。
- 市町における在宅医療・介護連携を推進するための取組において、顔の見える関係の中で地域における課題の抽出等をおこない、市域、圏域で課題を共有し、互いの役割の確認を行います。

あるべき姿

- 在宅医療を行う医療従事者の拡充
- 在宅医療の需要(住民のニーズ・状態)に応じたサービスの提供
- 地域包括ケアシステム構築に向けた体制の整備

参考

※ 本推計値は、現状の提供体制に医療計画で推計された2025年の在宅医療等の医療需要人口の増加率を乗じたものです。

●訪問診療を実施する診療所数	250
●在宅療養支援診療所数	231
●在宅療養支援歯科診療所数	77
●在宅患者調剤加算薬局数	161
●在宅療養支援病院数	12
●在宅療養後方支援病院数	6
●訪問看護ST数	89
●入退院支援加算を算定する病院	34
●入院機関とケアマネ連携数	2421
●在宅看取りを実施する診療所数	38

取組に対する年度目標

2020年の到達イメージ

- 市域・圏域の課題の共有
→ 関係機関が参加する会議や研修会の開催などを通じて、課題の抽出、対応策の検討等を行っている。
- 在宅医療に係る医療従事者の理解促進・役割の確認
→ 中核的な病院がリーダーシップをとり、入退院における連携等について情報交換、課題の検討を行っている。

2018年度

- (目標)
- 在宅医療・介護連携支援に係る相談窓口の設置
 - 研修会の開催

2019年度

- (目標)
- 在宅医療・介護連携支援に係る相談窓口の継続
 - 研修会の開催

2020年度

- (目標)
- 在宅医療・介護連携支援に係る相談窓口の継続
 - 研修会の開催

(参考指標)

現状に記載されているデータについて

- 訪問診療を実施する診療所数 ・ 在宅看取り(ターミナルケア)を実施する診療所数
入院機関とケアマネ連携数(介護支援連携指導料算定件数) NDBデータ 【平成28年】
※医療計画目標値 「在宅看取りを実施している医療機関数」について
目標値の計算では医療施設調査の数を使用した。医療施設調査とNDBデータでは
性質が異なるため、参考値として示した。
 - ・医療施設調査:3年に1回 各医療施設が調査票で回答したものを集計
 - ・NDBデータ:所定の診療報酬の項目を算定した数
 - 在宅療養支援診療所数 ・ 在宅療養支援歯科診療所数 在宅患者調剤加算薬局数
在宅療養支援病院数・在宅療養後方支援病院数・退院支援加算を算定する病院
近畿厚生局調べ 【平成29年4月1日現在】
 - 訪問看護ST数 全国訪問看護事業協会「訪問看護ステーション数調査結果」【平成28年】
-